

近畿大学大学院 総合理工学研究科
「東大阪モノづくりイノベーションプログラム」文部科学省大学院教育改革支援プログラム
成果中間報告会・第1回外部評価委員会の開催

平成16年度に開設した東大阪モノづくり専攻は、東大阪にキャンパスがあるという立地の特性を生かし、所属する大学院生は企業の開発研究実務を経験しながら、大学院で高度な専門教育と研究開発の指導を受けるといふ、長期・実践型の実学教育を実現しています。

さらに、平成20年度から「東大阪モノづくりイノベーションプログラム」として文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」に採択され、大学教員、企業経験者（SS&SE）・企業技術者、学生が三位一体となって教育の産学連携を推進してきました。このような産学連携型教育の取組について、企業や社会的な面から忌憚のないご意見をいただきたく、成果中間報告会・第1回外部評価委員会を下記の要領で開催します。専攻に関心をお持ちの先生方、院生、進学予定者の参加を歓迎します。

記

日時：平成22年2月26日（金）13:20～17:00

場所：38号館2階S-204（多目的利用室）

プログラム：

1. 挨拶と外部評価委員紹介（総合理工学研究科長・取組代表者 沖 幸男） 13:20～13:30
2. 東大阪モノづくりイノベーションプログラムの説明と評価方法について
（総合理工学研究科長・取組代表者 沖 幸男） 13:30～14:00
3. 東大阪モノづくり専攻大学院生の活動（博士前期課程2年生） 14:00～14:45
 - （1）徐放性を有する新規無機系抗菌剤の開発
 - （2）穀物発酵液の高機能化
 - （3）摩擦攪拌接合による鉄系高融点材料の接合システムの開発
4. セカンドメジャー制度の導入（担当教員および博士前期課程1年生） 15:00～15:40
 - （1）可視応答性光触媒材料の評価
 - （2）電源回路・パルス発生回路の作成
5. 企業経験者（SS&SE）による教育研究支援 15:40～16:25
 - （1）大学と企業の違い（総合理工学研究科 SE 辻井 康弘）
 - （2）無攪拌連続式高速リアクターによる石鹼製造（総合理工学研究科 SS 橋本 圭司）
 - （3）総合技術監理（総合理工学研究科 PM・客員教授 浅野 昌也）
6. 自由討議と外部評価委員からのコメント 16:25～16:55
7. 閉会の挨拶（総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻長 五百井 清）

以上

事務連絡先

577-8502 東大阪市小若江3-4-1 近畿大学大学院総合理工学研究科
東大阪モノづくりイノベーションプログラム 事務局（担当：向山）
Tel：06-6730-5880 ext. 5139
e-mail:daigakuinGP.monozukuri@itp.kindai.ac.jp